

まちづくり交付金 事後評価シート
高野山金剛峯寺周辺地区

平成21年12月

和歌山県高野町

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	和歌山県		市町村名	高野町(こうやちょう)		地区名	高野山金剛峯寺周辺地区(こうやさんこんごうぶじしゅうへんちく)			面積	50.1ha	
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	750百万円		国費率	0.4		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		地域生活基盤施設のうち大乗院跡駐車場整備・休憩所、高質空間形成施設のうち国道480号電線類地下埋設、公営住宅等整備のうちうす谷団地公営住宅建設ほか							
			提案事業		事業活用調査(埋蔵文化財発掘調査等)、まちづくり活動推進事業(まちづくりイベント支援、環境配慮住民協働プログラム策定等)ほか							
	当初計画から削除した事業		基幹事業		なし		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			提案事業		なし							
	新たに追加した事業		基幹事業		なし							
			提案事業		事業活用調査(埋蔵文化財発掘調査)		目標をより良く達成するため		影響なし			
交付期間の変更		当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更	なし									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	高野山内人口変化率	%	-2.06	平成11～15年度平均値	0.00	平成21年度	-2.14	x	あり なし	高齢者にも対応できる魅力的で、住み易い公営住宅の建設を行ったが、外的要因の影響を受けたために、人口の減少に十分な効果を発揮させられなかった	H22年6月
	指標2	高野山内宿泊者数	人/年	326,786	平成15年度	359,000	平成21年度	321,250	x	あり なし	旅行形態の変化等、外的要因の影響が大きく、宿泊者数が減少傾向を示した。ただし、外国人の宿泊者数は増加しており、修景の整備、イベント支援の事業効果があったものと思われる。	H22年6月
指標3	まちづくり活動参加人数	人/年	1,890	平成15年度	2,250	平成21年度	2,283		あり なし	電線類の地下埋設事業による修景整備、駐車場整備により、中心地で行われるイベント活動がし易くなり、イベント支援により自分たちが主役のまちづくりであるという意識改革に貢献した。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	公営住宅の高齢者対応住戸数の整備率	%	0.0	平成15年			20.4			高齢者に対応できる、住宅の基盤整備ができ、全戸において入居済。その内、高齢者の入居が約8割で事業効果があったものと思われる。	H22年6月
その他の数値指標2	高野山内外国人宿泊者数	人/年	10,038	平成15年			35,337			電線類の地下埋設等の修景整備、まちづくりイベントの開催により外国人の宿泊者数の増加につながっている。	H22年6月	
4) 定性的な効果発現状況	・まちづくりイベント支援を行うことにより、「なんとなく観光イベントをやっている」という意識から、自分達が主役の催しであるという意識改革が見え始め、イベントを通じて「地域づくり」、「まちづくり」を考えるという意識の向上につながってきている。 ・電線類地下埋設事業等により、景観が向上し、住民の景観に対する意識が高まった。											
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス		高野山奉賛会 ・役員会、各種団体会議 ・地域づくりを考える講演会の開催 高野山万燈供養会実行委員会 ・運営会、研修会の開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				互いに協力することの必要性、住民意識の共有化を図るため継続的な支援を実施する。	
	持続的なまちづくり体制の構築		地域住民等で構成される ・高野山奉賛会 ・高野山万燈供養会実行委員会				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後において、地域住民と連携し継続的なまちづくり体制の構築を図りたい。	

様式2-2 地区の概要

高野山金剛峯寺周辺地区(和歌山県高野町) まちづくり交付金の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
メインテーマ 悠久の歴史と文化を培い次代に継承する「宗教環境都市」の創出 世界遺産高野山を持続的に支えていくため、山内人口定着を促進するまちづくり 世界遺産高野山固有の景観と環境をゆっくり歩いて体感できるまちづくり 世界遺産高野山を住民および来訪者が協働し、守り・活かし・育てるまちづくり	高野山内人口変化率	単位: %	-2.06	H11~15年度 平均値	0.00	H21年度	-2.14	H21年度
	高野山内宿泊者数	単位: 人/年	326,786	H15年度	359,000	H21年度	321,520	H21年度
	まちづくり活動参加人数	単位: 人/年	1,890	H15年度	2,250	H21年度	2,283	H21年度
	公営住宅の高齢者対応住戸数の整備率	単位: %	0.0	H15年度			20.4	H21年度
	高野山内外国人宿泊者数	単位: 人/年	10,038	H15年度			35,337	H21年度



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 公営住宅建設により、高齢者が安心して暮らせる基礎が作られたものの、医療及び就学環境、労働環境の問題による周辺市町への移住等の問題が残った。 通過交通量の増加や旅行形態の変質に伴う旅行者、参拝客の減少、及び慢性的な駐車場不足による路肩駐車が増加し、安心して歩道を歩けないなどの問題点も生じている。 電線類の地下埋設、ファサードの修景整備により、世界遺産にふさわしい街なみ景観が向上され、外国人観光客の増加につながった。 住民主体の地域づくり、まちづくりのイベントとして、住民が協働するようになり、意識の向上が図れた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化している公営住宅の建替等による高齢者対応住宅の整備及び環境改善事業の推進を図り、安心して暮らしやすい住宅の整備に努める。 通過交通量の増加、旅行形態の変質に伴う旅行者、参拝客の低迷を解消すべく、駐車場整備、通行車両の通行制限等による安心して歩けるまちづくりの推進を図る。 電線類の地下埋設、ファサードの修景整備等により、世界遺産にはさわしい景観形成の推進を図る。 住民が協働する地域づくり、まちづくりイベント等の開催における支援を、今後も継続的に推進する。